



平成27年3月23日  
愛知地域包括ケアモデル事業報告会

**豊 明 市**

豊明市役所  
健康福祉部 高齢者福祉課  
地域ケア推進担当係 近藤 有紀子

藤田保健衛生大学  
地域包括ケア中核センター  
都築 晃



- ・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市のベッドタウン。
- ・人口68,448人（28,112世帯）  
うち、高齢者人口 16,131人
- ・高齢化率 **23.6%**（地域差あり）
- ・総人口は減少傾向で推移。  
年少人口、生産年齢人口とも減少する一方で、高齢者人口は増加。

### ■ 豊明市の保健・医療に関する社会資源

病院3（藤田保健衛生大学病院、桶狭間病院藤田こころケアセンター、豊明栄病院）  
医療機関39、歯科医療機関39、薬局25、訪問看護3、訪問リハビリ3

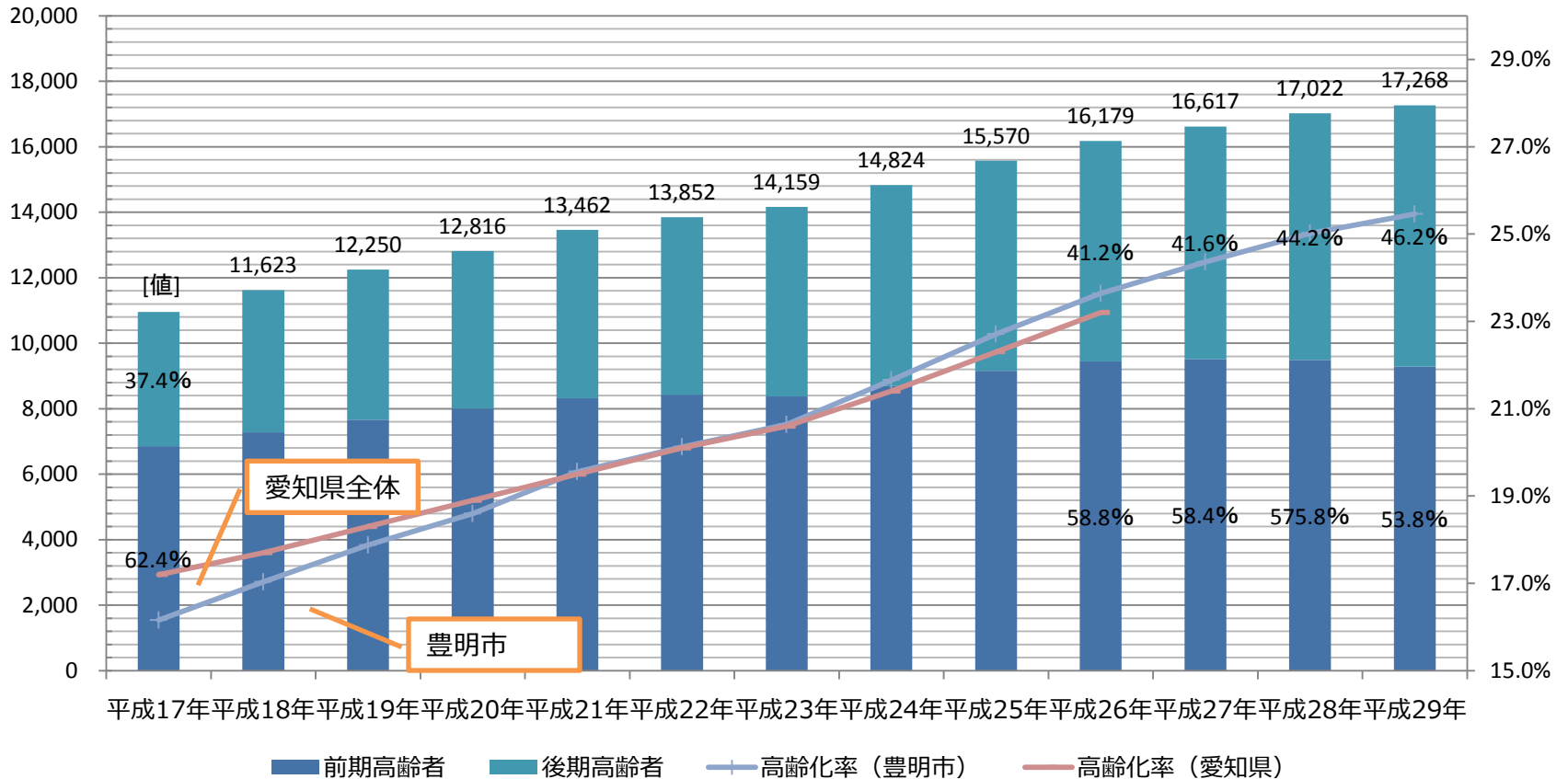
- ◆医師会：東名古屋豊明市医師会
- ◆薬剤師会：日進東郷豊明薬剤師会

- ◆歯科医師会：愛豊歯科医師会豊明支部

### ■ 豊明市の介護・福祉に関する社会資源

地域包括支援センター2（H24より委託）、特別養護老人ホーム4、老人保健施設2  
特定施設2、小規模多機能居宅介護1、認知症対応型共同生活介護3  
居宅介護支援事業所10

## 豊明市の高齢化率の推移



豊明市の高齢化率は、平成24年度から愛知県全体と逆転。特に、今後、数年の推計は、後期高齢者の伸びが著しく、高齢者の46.2%となる見込み。

要介護（要支援）認定者数は、毎年80～160人程度増加しており、認定率は13.6%、要介護（要支援）認定者数は2,206人となっています。

## 愛知県地域包括 ケアモデル事業

(H26.4～H29.3 3ヶ年事業)  
医療・福祉一体提供モデルとして実施

豊明市北部地域をモデル地区とし  
藤田保健衛生大学とともに事業展開

豊明団地における取り組み  
＝けやきいきいきプロジェクト



豊明市北部地域における地域包括ケアの取り組み

豊明市全体における在宅医療・介護連携推進に関する取り組み

東名古屋医療圏域（豊明市・東郷町・日進市・長久手市）における在宅医療・介護連携推進に関する取り組み

## 介護保険 地域支援事業と して在宅医療・介護連携推 進事業を強化推進

### 愛知県在宅医療連携拠点推進事業

(H26.1～H27.3 15ヶ月事業)

- ・地域包括ケア連絡協議会の設置
- ・地域包括ケアシンポジウムの開催
- ・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成  
研修事業の実施
- ・ICT「いきいき笑顔ネットワーク」による連携推進
- ・市民啓発の実施(広報特集記事、出前講座)
- ・ICTネットワークと見守りセンサーを活用した見守りサポート  
事業の実施
- ・医療・介護資源リストの作成 など

愛知県多職種協働による在宅チーム医療を担う  
人材育成研修 モデル事業  
(H26.1～H27.3 15ヶ月事業)

# 愛知県地域包括ケアモデル事業

## 医療・福祉一体提供モデル

### 目指すべき地区の状態

- 同一法人で設置された病院、在宅療養支援診療所、訪看、介護事業所等が相互に連携し、患者情報を共有しながら、在宅の療養者に対し、医療、介護が一体的に提供されている。
- 見守りや配食、買い物などの生活支援サービスは法人外部に依頼し、いつでも利用できる。
- 介護予防や健康づくりが積極的に行われている。
- 自宅では暮らせない状態になった場合の転居先が確保されている。

必須タスク	モデル事業の取組み年度
マネジメント・調整	平成26年度
医療と介護の連携	
介護	平成27年度
予防	
生活支援	平成28年度
住まい	



◆ マネジメント・調整について

◆ 医療と介護の連携について

## 豊明市地域包括ケア連絡協議会

地域包括ケア体制構築に向けた各部会の取組状況の報告と課題の検討  
平成26年4月設置 地域ケア会議の施策検討レベル会議として位置づけ

### 代表者会議

#### 多職種人材育成研修 プログラム検討会

多職種連携や人材育成研修内容の協議  
〔藤田保健衛生大学に委託〕

#### 同職種勉強会

ケアマネ

訪問看護

訪問リハビリ

#### ICT医療福祉 連携部会

#### いきいき笑顔ネットワーク 運営委員会

#### 定例ミーティング

名古屋大学医学部附属病院先端医療臨床研究支援センターサポートのもと、具体的取組について検討

#### 入退院 調整部会

病院から在宅生活への移行時の関係機関同士の連絡調整等について情報共有・体制整備

#### 見守り生活 支援部会

見守り・生活支援の具体的なサービスや取組みについて、市民参加のもと検討

#### 見守り生活支援 協議体

同職種による情報共有  
医師会等の他団体との組織連携等



# いきいき笑顔ネットワークの概要



## いきいき笑顔ネットワークの現在までの経過

- 平成23年2月～ 試験運用開始
- 平成23年10月～ 地域正式導入
- 平成25年9月～ 自立的運用開始  
(行政・3師会との協定締結)
- 平成26年6月～ ICT見守りサポート事業の開始

在宅療養高齢者を中心とした  
医療福祉連携と見守り支援にネットワーク利用展開

## いきいき笑顔ネットワークの利用・登録状況

患者登録者数 392人  
(参考) 豊明市の介護認定者数 2,206人  
今までの患者登録記事数 3,293件

- 登録医療機関・介護関係機関 92事業所
- ・医院
  - ・歯科医院
  - ・薬局
  - ・居宅介護支援事業所
  - ・老健施設
  - ・藤田保健衛生大学病院
  - ・行政・包括
  - ・障がい者相談支援センター
  - ・訪問看護ステーション など





# いきいき笑顔ネットワークによる多職種支援のケース 高齢者と障がい者親子世帯が在宅生活を継続するために

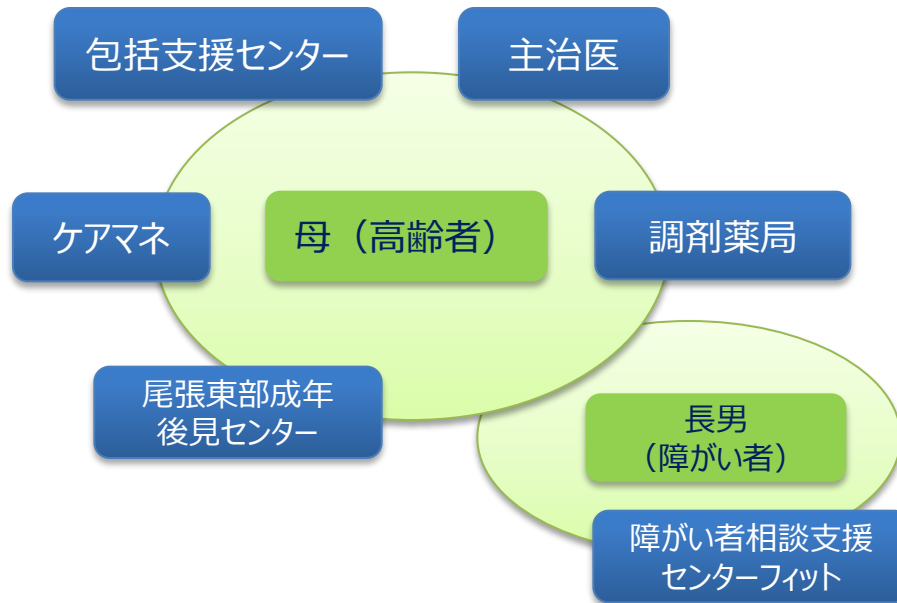
## ■ 事例概要

母 70歳代 Kさん 要介護1  
アルツハイマー型認知症  
高血圧症、脳梗塞後遺症

長男 40歳代 身障1級（視覚・体幹）  
網膜色素変性症  
進行性筋ジストロフィー

## ■ 生活状況

マンションで長男と2人暮らし。二男は近隣市で生活しており、進行性筋ジストロフィー。二男の嫁の顔がわからないなどの認知症状あり。現在は尾張東部成年後見センターが補佐人を受任。デイサービスなどの介護保険サービスを利用。  
長男は車いす生活で、視覚も光が把握できる程度の視力。週2回の障がい者のデイサービスを利用している。



## ■ いきいき笑顔の活用について

認知症高齢者と重度身体障がい者の困難事例。家庭内にキーパーソンが不在なうえ、母・長男ともに医療・福祉関係機関が多く関わる。  
母のみ・長男のみの支援でなく、世帯として一体的に状況を把握して支援していく必要性が高いため、いきいき笑顔ネットワークを活用した連携支援を行っている。

## いきいき笑顔ネットワークと見守りセンサーを活用した「見守りサポート事業」

### 目的

- 1 独居高齢者の孤独死・孤立死予防
- 2 緊急事態への早期発見・早期対応
- 3 高齢者の健康づくり

### 取組み内容

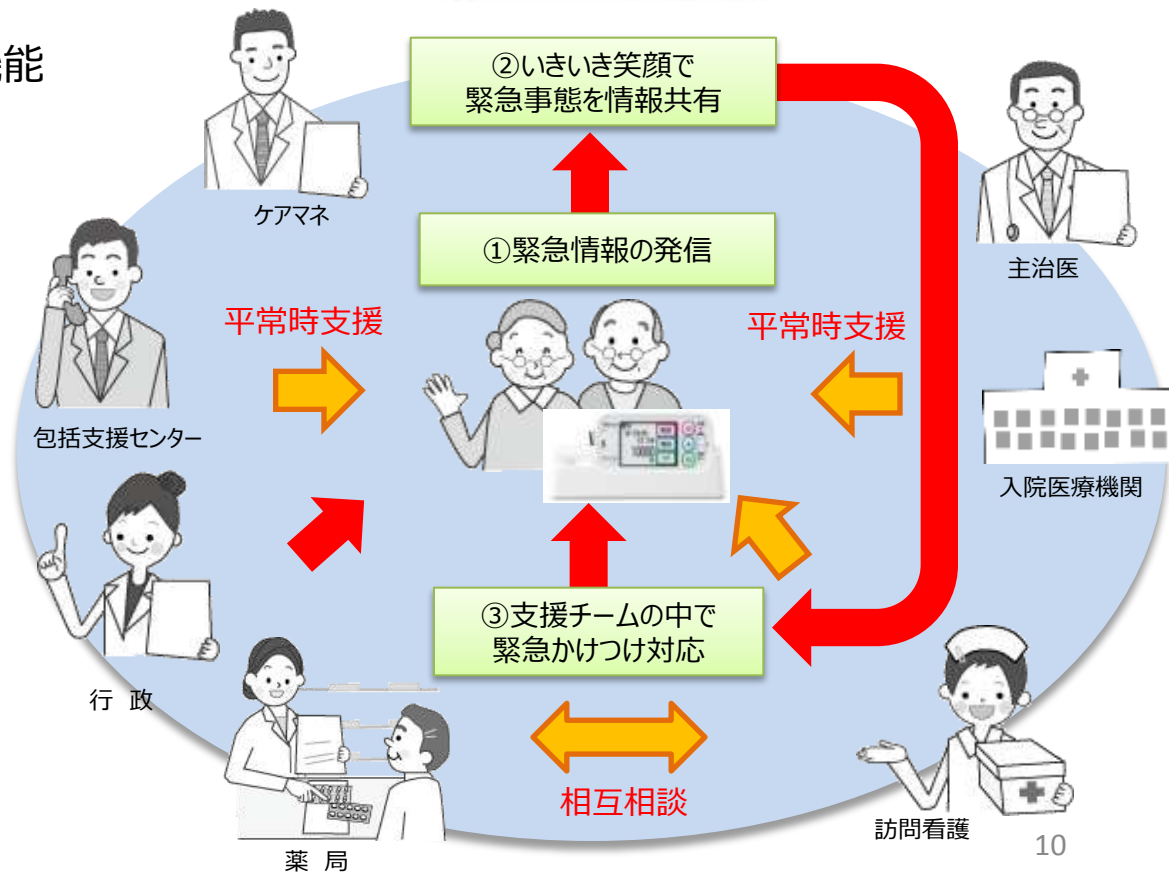
- 1 - 見守りセンサー（人感センサー）機能
- 2 - 緊急センサー機能
- 3 - 万歩計機能

### 対象者 合計400名

- ・いきいき笑顔ネットワーク登録者
- ・市内独居高齢者



見守り用センサー  
「Mi-Look」



## ■ 本人概要

80歳代 男性Nさん 1人暮らし  
認知症 要介護1

〔サービス利用状況〕

- ・デイケア（6回／週）－ Yクリニック
- ・配食サービス（7日／夕食）

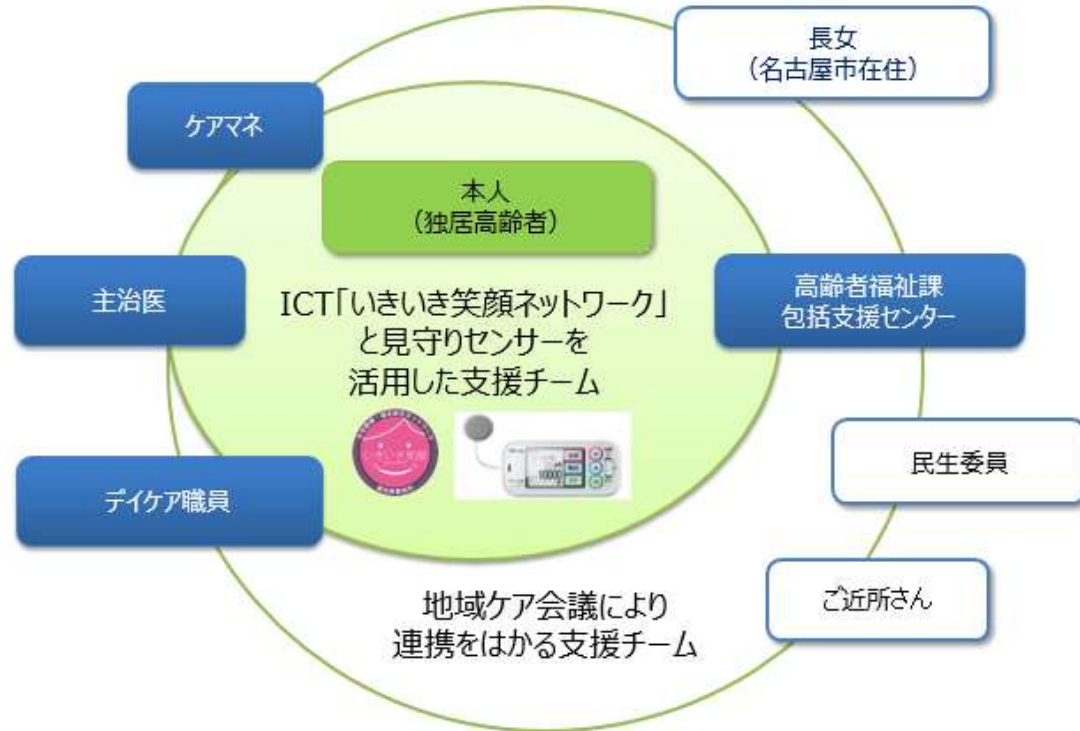
## ■ 支援者

長女（名古屋市在住、必要時支援）  
主治医、デイケア職員、ケアマネ  
地区民生委員（隣の家）、ご近所さん

## ■ 本人・家族の希望

本人：1人暮らしでも心配なく愛犬との生活を続けていきたい

家族：介護サービスなどの必要な支援を利用しつつ、健康管理をしながら交流の場へも参加し楽しく過ごしてほしい。



## ■ 経緯

妻は8年前に他界。その後1人暮らし。  
認知症より、服薬ができない等の問題かかえつつ生活。

**見守りサポート事業の導入をきっかけにインフォーマルも巻き込んだ支援チーム結成へ**

# 多職種チーム支援を推進するための取組み

## 平成26年度 多職種協働による在宅 チーム医療を担う人材育成研修事業 〔藤田保健衛生大学への委託実施〕

- ・プログラム検討会 2回  
医療福祉多職種による検討会議
- ・研修会 4回  
がん療養、認知症、在宅歯科、薬剤支援  
CKD等の講演、毎回懇親会、毎回グループ  
ワーク、iPadを使いたいいきいき笑顔ネットワー  
クワークショップ
- ・同職種勉強会 2回  
ケアマネ、訪看、訪リハによる



【豊明市委託】2014年度 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会

医療福祉従事者がお互いの専門的知識を高めながら、チームとなって  
患者・家族を支える地域の体制を整えるため、下記のとおり研修会を行います。



参加費無料  
申し込みは別紙にて

交流・グループワーク  
各回とも、約60分の  
グループワークを予定

全4回  
1回のみ参加も可能  
豊明市の現状報告あり

懇親会  
各回終了後に、  
軽食を含めた懇親会を  
予定

### 【第2回 研修会】

■日時：10月26日(日) 14時～16時20分  
■会場：豊明市商工会館

#### ■プログラム

- 講演1「認知症ケアにおける病院から在宅への退院支援(仮)」  
医療法人 晴和会 あさひが丘ホスピタル 名誉院長 柴山 謙人 先生
- 講演2「認知症ケアと在宅にむけての取り組み」  
橋狭間病院藤田こころケアセンター 佐藤 輝美 看護長
- 「豊明市の現状報告2」 豊明市役所高齢者福祉課
- 交流・グループワーク「認知症患者の在宅支援における課題と解決策について」
- 懇親会 予約制 懇親会(会場にて軽食をご用意します。参加費500円)

### 【第3回 研修会】

12月7日(日)14時～16時20分 会場：豊明市商工会館

- 「歯科診療と在宅支援(仮)」  
藤田保健衛生大学病院 歯科口腔外科 松尾 浩一郎 教授
- 「訪問薬剤指導と在宅支援(仮)」  
薬利部 講師交渉中
- 「豊明市の現状報告3」 ○交流・グループワーク ○懇親会(会場にて軽食をご用意します。参加費500円)

### 【第4回 研修会】

1月25日(日)14時～16時20分 会場：豊明市文化会館ギャラリー

- 「CKDにおける在宅支援(仮)」  
医療法人雙水会みずのクリニック 理事長 水野 源夫 先生
- 「CKDと在宅生活につなげる看護」  
藤田保健衛生大学病院 看護部 透析看護認定看護師 並井 しず 看護長
- 「豊明市の現状報告4」 ○交流・グループワーク ○懇親会(会場にて軽食をご用意します。参加費500円)

### 受付終了した研修会

【第1回 研修会】■日時：10月4日(土) 14時～16時20分 ■会場：豊明市商工会館

#### ■プログラム

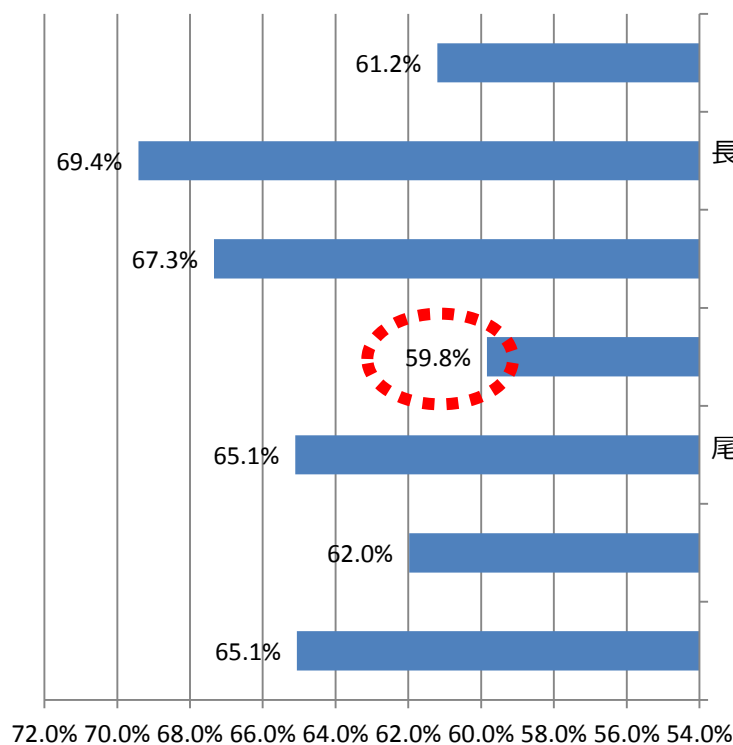
- 講演1「がん患者のケアとリハビリテーション-在宅への退院支援」  
藤田保健衛生大学病院 医療連携福祉相談部 副部長 加賀谷 斉 准教授
- 講演2「がん患者のケアと訪問看護の取り組み」  
藤田保健衛生大学訪問看護ステーション 小島菜保子 看護科長
- 「豊明市の現状報告1」 豊明市役所高齢者福祉課
- 交流・グループワーク「がん患者の在宅支援における課題と解決策について」

【問合せ・申込先】 藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター 河村・都築

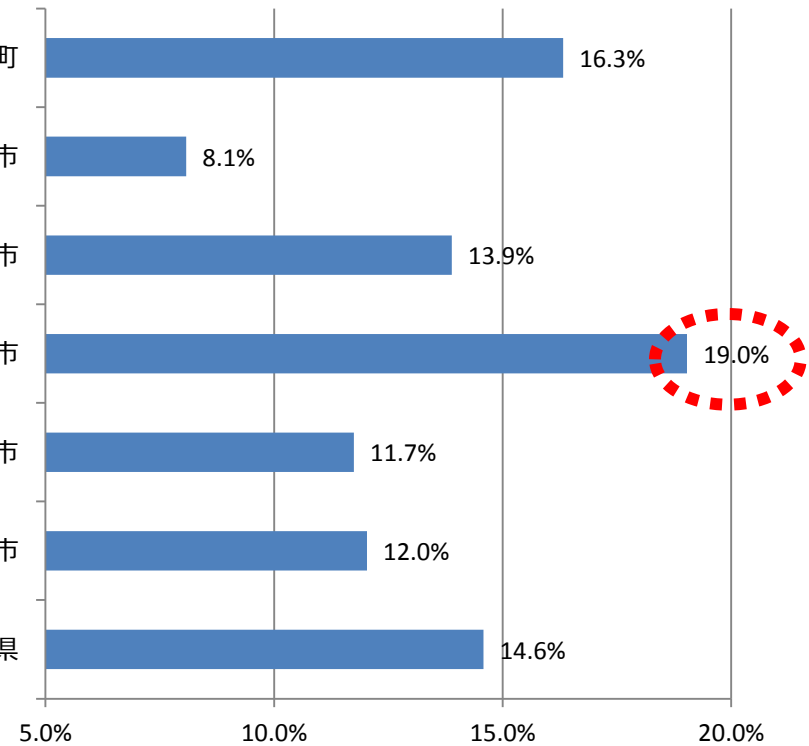
問い合わせ：TEL(0562)93-3706 申し込み：FAX(0562)93-3705 E-mail kurimoto@fjita-hu.ac.jp

# 豊明市の在宅・施設サービス利用の比較

## 在宅サービス



## 施設サービス



参照) 平成26年9月月報

利用者数÷認定者数で算出。

豊明市は、他市と比較して在宅サービス利用率が低く、施設サービス依存が高い傾向。  
施設サービスが充実しており、入所しやすい一方、本人意思に関わらず、安易に入所の傾向も。

- ・方法／ 自記式シート（郵送にて回収）、H26. 1月調査、回収率約60%
- ・有効回収数／ 高齢者本人調査：2,320票・家族介護者調査：197票

**問：今後、どのように介護を受けながら生活をしたいと思いますか？**

- 「ひとり（または夫婦）で、介護保険サービスを活用しながら生活したい」・・・**27.8%**
- 「子どもや親族と同居し、介護保険サービスを活用しながら生活したい」・・・**23.9%**
- 「子どもや親族と同居し、家族介護を中心に  
介護保険などのサービスは利用しないで生活したい」・・・**11.6%**

在宅を望む声が約6割

**問：自宅での療養を難しくする要因は何だと思いますか？（複数回答可）**

- 「家族に負担がかかること」・・・**59.7%**
- 「急変したときの医療体制が心配なこと」・・・**23.7%**
- 「自宅に往診してくれる医師や訪問看護ステーションが分からないこと」・・・**14.4%**
- 「病院から自宅へ退院する際の手続きや自宅での療養準備が大変なこと」・・・**8.9%**

一方で、在宅療養に対する  
市民の不安は大きい

# 豊明市の医療受診～療養生活の流れ

藤田保健衛生大学病院

市内へ退院する  
ケースは少ない

退院決定から退院までの期間が短く、本人・家族が退院後の生活イメージをもてない



地域の中核病院や施設、在宅

退院決定から退院までの期間が短く、困難ケースが何の手がかりもなく地域へ

市外の中核病院  
へ転院



在宅生活が可能でも家族の希望で長期入院になることも多い

24時間365日体制の支援をしているが地域での利用がすすみにくい

地域包括ケア  
中核センター

市外の介護施設へ転院



退院時に構築した支援チームが地域に戻ると継続しない  
また経過がわからない

在宅生活では入院時の指示事項を継続して実施できず、再発悪化

多い

医療依存度の高いケースをどうサービスコーディネートしたらいいかわからない

役や  
員

市外

在宅生活で急変した時にどこに相談したらいいかわからない



## 豊明市の在宅医療介護連携成功へのPoint

- 大学病院スタッフとの在宅医療に関する相互理解
- 大学病院地域連携室 ⇔ 市内の医療・介護資源との連携強化
- 市外の中核病院・市外の施設 ⇔ 市内の医療・介護資源との連携強化

**患者情報**  
登録情報の変更はこちら

連絡先:

記事の抽出・絞り込みパネル

▼ **記載者: 小島菜保子 (Ns: 藤田保健衛生大学訪問看護ステーション)** 2015年02月24日 16時19分  
最終更新日時: 2015年02月24日 16時19分 文書タグ:

記載日

2月 2015年						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

担当/グループ

牧靖典 (Dr: 牧医院)  
小島菜保子 (Ns: 藤田保健衛生大学)  
近藤有紀子 (Phn: 豊明市役所)  
鳥居美佐子 (Cm: 清水会ケアプラン)

▼ **記載者: 牧靖典 (Dr: 牧医院)**  
最終更新日時: 2015年02月24日

本日慢性呼吸器疾患の認定看護師が訪問看護に同行しました。酸素を使用したくない理由として「はずかしい」ことを何度も言われま  
 労作時 1.5ℓ/分 の処方変更がありました。  
 手元で操作ができるようにリモコンの手配を帝人に依頼しました。  
 定期的に酸素の使用状況を報告させていただきます。

天気がよければ散歩を進めていきたいと思います。

よろしく申し上げます。

藤田訪看 小島



中核センター  
訪問看護

認定看護師



医師

藤田保健衛生大学との在宅連携支援

- ・地域包括ケア中核センター訪問看護ステーション 看護師
- ・藤田保健衛生大学病院看護部 認定看護師



## 市民・在宅療養者への理解と周知

### 平成26年度地域包括ケア講演会

#### 「在宅医療・福祉のこれから」

- 日時：平成26年2月8日（土）
- 会場：豊明市文化会館 小ホール
- 参加者：約130名  
(市民、医療福祉関係者、行政職員等)

#### ○内容：

##### (第一部) 講演

講師：牧 靖典 先生  
(いきいき笑顔ネットワーク連絡協議会長)

##### (第二部) シンポジウム

コーディネーター：水野 正明 先生  
(名古屋大学医学部附属病院 総長補佐)

#### パネリスト：

石川 英明 市長 (豊明市長)  
隈部 泰男 先生 (東名古屋豊明市医師会長)  
松森 正起 先生 (愛豊歯科医師会豊明支部長)  
森 道成 先生 (日進東郷豊明薬剤師会長)



### 平成27年度地域包括ケア講演会

#### 「人生の最終章、あなたはどう生きる」

- 日時：平成27年3月7日（土）
- 会場：豊明市文化会館 小ホール
- 参加者：約300名  
(市民、医療福祉関係者、行政職員等)

#### ○内容：

##### (第一部) 講演

講師：佐橋 大 (中日新聞生活部記者)

##### (第二部) 講演

講師：村井 美代 (藤田保健衛生大学病院  
緩和ケア科医師)

豊明市地域包括ケア講演会  
~人生の最終章、あなたはどう生きる~

高齢者の増加に伴い、これからの日本では多死時代を迎えます。  
「人生の最終章」について考えたら、あなたはどのような人生を希望しますか？  
また、その希望を実現するためには何が必要でしょうか？  
身近な話題として考えあきらむきっかけに、ぜひご参加ください。

**第一部**  
▶「終末期の生き方、みなさんの希望は？」  
講師：中日新聞生活部記者 佐橋 大氏

**第二部**  
▶「緩和医療の現場から」  
講師：藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座医師 村井 美代氏

2015年  
**3月7日(土)**  
入場無料/申込不要

時間 14:00~15:30  
(13:30 開場)

会場 豊明市文化会館小ホール  
〒470-1127 豊明市自由町2番地-1  
公共交通機関より 豊明駅南口徒歩10分

### 【豊明市民の医療福祉取り巻く現状】

- 介護施設への入所率が高い傾向
- 顔の見える関係の定着に合わせ、ICTを活用したやりとりもスムーズに
- 緊急・状態悪化時、夜間・休日受診など 藤田保健衛生大学病院への依存傾向
- 退院後は市外の医療機関や介護施設へ入所 というパターン
- 施設入所→状態悪化したら病院へ転院→回復後再び施設 という循環パターン
- 一方で、本人は最後まで在宅で・・・と望む声が多い

…本人の多様な選択を可能にし、希望する暮らしを叶えていくために…

### 医療と介護の連携 来年度の具体的な取り組み

- 市外の中核病院や介護施設との実態把握と連携強化
- 東名古屋医師会在宅医療連携サポートセンターとの連携強化
- 市外医療機関や藤田保健衛生大学とすすめる  
退院ケア会議から始まるチーム支援にICT活用
- 連絡調整のスリム化やケース支援の質の向上など、ICT導入による効果検証
- 市民啓発の強化 = 自分らしい選択支援

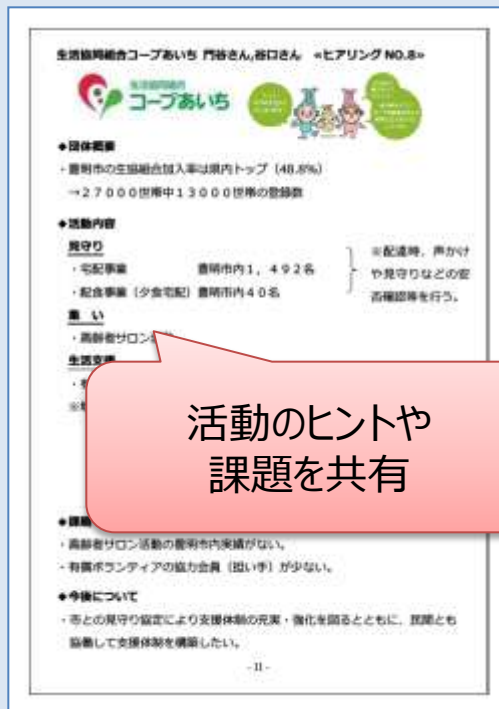


## ◆生活支援について

いろいろ会議を重ねてみたものの・・・  
地域で見守りや生活支援の具体的な  
取り組みを検討するためには



**まずは、地域活動団体ヒアリング！！**  
強みや弱み、活動の課題等を確認しました。  
各団体紹介の冊子作成で見える化も。



## ヒアリング団体（16団体）

- ・民生児童委員
- ・区長連合会代表
- ・社会福祉協議会
- ・シルバー人材センター
- ・落合みまもりたい
- ・坂部見守り隊お助け隊
- ・桶狭間生活支援見守り隊
- ・みかんの会
- ・とよあけ健康づくりの会
- ・NPO法人 さわやかとよあけ
- ・南医療生活協同組合
- ・生活協同組合コープあいち
- ・JAあいち尾東
- ・豊明たすけあい けやきの会
- ・地域交流館いつみ
- ・食生活改善推進グループ こまの会

## 平成27年12月 協議体 発足

参加団体：当初ヒアリング16団体

(ボランティア、NPO、地縁団体、共同組合、社会福祉法人 など)

+

藤田保健衛生大学病院、藤田保健衛生大学地域中核センター  
北部・南部包括支援センター

実施内容：課題や解決方法などワークショップ、意見交換

毎月  
定例開催へ

人材不足…

活動メニュー  
増やしたい



## 【地域団体の現状】

- 急速な高齢化や要支援者による生活支援ニーズの増加
- 生活支援サービスNPOの不足
- 認知症高齢者の増加による地域の見守りの必要性
- 支え手側の各団体が抱えている問題(担手不足、担手高齢化、費用、時間がない…)
- 見守る側・見守られる側の個人情報の問題 など

…地域の様々な団体が多様なサービスを提供でき、活動を拡げていくために…



## 生活支援 来年度の具体的な取組み

- 民間団体の参加促進：新聞配達や郵便配達、タクシー会社や警備会社 など
- 多様な団体のノウハウ共有から、新たな活動モデルや協力体制の構築
- 先進地域・先進団体の取組み研究
- 潜在してる担い手の養成・発掘、地域資源の開発やネットワーク化などを行う
- 豊明市に必要な「生活支援コーディネーター」のあり方検討



# けやきいきいきプロジェクト

**豊明団地**における地域包括ケアシステムづくり

## 豊明団地の概況

- ・ 昭和40年に建設された豊明団地は、5階建て55棟 エレベーターなし
- ・ 人口4,529人（約2000戸）のうち、65歳以上の高齢者1,144人（4人に1人）
- ・ 高齢者のうち、ひとり暮らし **約270人**（豊明団地内の高齢者のうち、23.6%）



### 豊明団地はこれからどうなっていくの…

- 老老世帯、独居世帯が増加？
- 団地の空き店舗、空室増加？
- 子育て世帯の減少と、外国人の増加

住みなれた豊明団地で  
いつまでも  
安心して  
暮らし続けるために



## 学校法人藤田学園との包括協定

- ・藤田保健衛生大学・藤田保健衛生大学病院との多分野での連携協力に関する包括協定締結



## UR都市機構との包括協定

- ・超高齢社会に向けた団地の地域の医療福祉拠点化に向けて包括協定締結
- ・全国100団地拠点に選定



## 愛知県地域包括ケアモデル事業

- ・医療・福祉一体提供モデルとして実施 (H26.4~H29.3 3か年事業)
- ・豊明市北部地域をモデル地区とし 藤田保健衛生大学とともに事業展開
- ・豊明団地における地域包括ケアシステムづくり  
= **けやきいきいきプロジェクト**

### 豊明団地

UR都市機構による  
医療福祉拠点整備  
全国先行23拠点に



# けやきいきいきプロジェクトができるまで①

時期	実施内容	参加者
4/15	地域懇談会 ・モデル事業について ・URとの協定締結について	団地自治会役員、高齢者福祉課
4/16	UR都市機構との包括協定締結	
4/22	豊明団地生活支援アドバイザー ヒアリング	生活支援アドバイザー、包括支援センター 高齢者福祉課
4/30	地域懇談会 ・藤田保健衛生大学の取り組み ・団地自治会の活動について	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 高齢者福祉課
5/23	地域懇談会 ・意見交換	豊明市長、団地自治会役員、 高齢者福祉課
5/29	<b>第1回 検討会</b> ・見守りサポート事業について	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 包括支援センター、UR都市機構、 高齢者福祉課
6月～	<b>見守りサポート事業 開始</b>	
8/6	<b>第2回 検討会</b> ・高齢者アンケートについて	団地自治会役員、藤田保健衛生大学 包括支援センター、UR都市機構、高齢者福祉課

関係者から現状の聞き取り

具体的な取り組み